

# スラリー瓦の塗替えを あきらめていませんか？

## スラリー層を強固に補強。 屋根の美観を保護します。

# NTスラリー瓦塗替え工法

【改訂第2版】

### スラリー瓦 とは？

コンクリート瓦へ着色セメントペーストが塗布された瓦を「スラリー瓦」と呼んでいます（新品のスラリー瓦には表層に1液アクリルクリヤーが塗布されています）。塗替え時のスラリー層の状態は、酸性雨にさらされているため中性化が進み、ドライアウト状態になっており、瓦の表面に触ると瓦の色が手に付着します。

スラリー瓦には「モニエル瓦」「クボタ洋瓦」（パラマウント、パラシェイク）「スカンジア瓦」などがあります。



# 脆弱なスラリー層を強化。強い下地を形成し、屋根の美観を長期間維持します。

国内各地の戸建て住宅などに採用されている屋根用瓦の「スラリー瓦」は、改修が必要な時期でも表面の強度不足などで早期剥離の心配があり、塗替え工事が困難とされていました。

しかし日本特殊塗料では、屋根用塗料開発の長年の実績と試験施工を経て、当社独自の施工と超含浸工ポキシプライマーによる脆弱なスラリー層の強化に加え、カラフルなウレタントップコートで屋根をリフレッシュできる「NTスラリー瓦塗替え工法」の開発に成功しました。スラリー層を強固に補強することで塗装条件にもっとも必要な付着性条件をクリアし、いままでのような脆弱層からの剥離の心配を解消しました。

また、「NTスラリー瓦用上塗」に加え、高耐候性・環境・省エネ性のご要望に応じて、太陽光、熱を反射する高反射顔料と特殊セラミックを配合することで優れた反射性を発揮する「NTスラリー瓦用上塗遮熱」、高光沢と高耐久性の「NTスラリー瓦用上塗シリコン」、反射性と高耐久性をあわせ持つ多機能の「NTスラリー瓦用上塗シリコン遮熱」の3種類のトップコートもラインアップしました。

屋根瓦の美観と保護、快適な住環境実現のために、「NTスラリー瓦塗替えシリーズ」をぜひご活用ください。

## 特長

### 1 脆弱な下地を強化します。

特殊なプライマーと施工方法により、剥離の原因となる脆弱化したスラリー層を浸透強化。強固な下地をつくります。



▲NTスラリー瓦用シーラー

※含浸性がわかるように染料で着色しています。

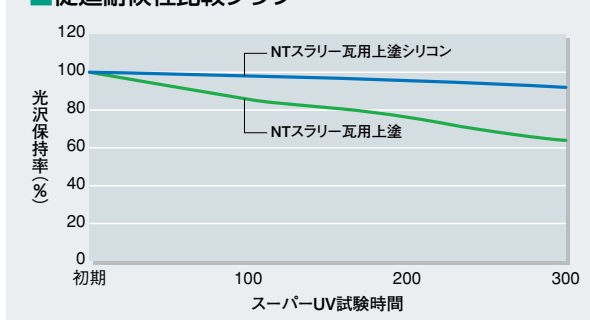


▲他社スラリー瓦用塗料

### 2 耐久性に優れています。

酸性雨や紫外線および熱劣化などの耐性と抜群の耐候性（高耐候性塗料）を誇るシリコン系が新たにラインアップしました。屋根の美観を長期間維持するとともに、従来品に比べ抜群の耐候性があります。

#### 促進耐候性比較グラフ

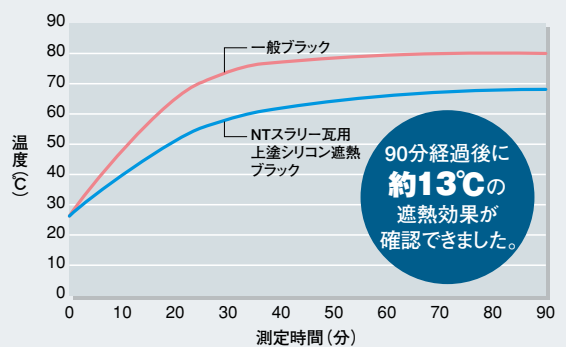


### 3 優れた遮熱性を発揮します。

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料と、熱放射に優れたセラミックを採用した「NTスラリー瓦上塗遮熱」「NTスラリー瓦上塗シリコン遮熱」を屋根に塗装することで瓦の温度が緩和されるため、夏場の照り返し、室内温度上昇の抑制効果が期待できます。

#### NTスラリー瓦上塗遮熱比較試験

【条件】●照射ランプ：300Wレフランプ ●基材：15年経過のスラリー瓦の瓦裏面温度を測定



### 4 安心の施工体制で確実に施工します。

工事施工は厳しい認定試験に合格した当社指定の専門業者が行ないます。安心の施工体制です。

### 5 屋根を美しく彩ります。

豊富な標準色、特注色を用意しています。屋根の新たなイメージチェンジが可能になりました。

## 瓦の判別

瓦の識別は、スラリー瓦塗替え工法のポイントです。

### ①瓦小口部で確認する方法

スラリー瓦は、生産工程で小口部分（水垂部）に凹凸ができます。また、瓦表面にも凹凸があります。見分けるポイントは、右の写真のように、前小口のみでほぼ見分けがつかます。

●スラリー瓦前小口



前小口が凸凹

●一般瓦前小口

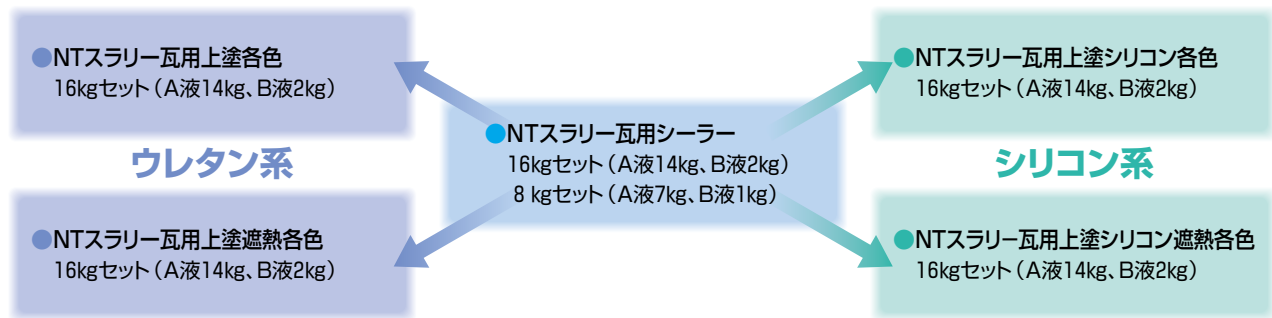


前小口がフラット

### ②瓦表面で確認する方法

塗り替え時期になったスラリー瓦は表面の着色スラリー層がもろくなっているため、釘やカワスキで瓦表面を軽くひっかくと着色スラリー層がボロボロと取れます。

## 荷姿



## 標準色

●この標準色は印刷のため、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。  
 ※印の標準色（4色）は割高になります。



●別途シルバー系の銀黒2号、銀黒3号、シルバーブラック、銀青もご用意できます。実際の色は最寄りの営業所までお問い合わせください。  
 ●上記以外の色も調色可能です。色相・価格などは最寄りの営業所までご相談ください。

# 標準塗装仕様

## ■NTスラリー瓦塗替え標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	可使時間	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高圧水洗（水圧8～12MPa）でホコリやコケなどを十分に洗浄し、脆弱なスラリー層を撤去してください。また、コケなど取れにくいためワイヤーブラシなどで撤去してください。</li> <li>●コケなどが残った場合、プライマーの付着不良を起こしますので完全に除去してください。</li> </ul>				
シーラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用シーラー A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用シーラー B液 —————2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.3～0.5kg/㎡ 1～3回 ※表面にシーラーが浮くまで たっぷりと塗装してください。	8時間 (23℃)	12時間以上72時間以内 (23℃)

上塗は、  
仕様により異なります。

## ■NTスラリー瓦塗替え工法 ウレタン仕様

上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗 A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗 B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	8時間 (23℃)	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗 A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗 B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	8時間 (23℃)	—

## ■NTスラリー瓦塗替え工法 ウレタン遮熱仕様

上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗遮熱 A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗遮熱 B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	8時間 (23℃)	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗遮熱 A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗遮熱 B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	8時間 (23℃)	—

## ■NTスラリー瓦塗替え工法 シリコン仕様

上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	6時間 (23℃)	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン A液 —————14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン B液 —————2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	6時間 (23℃)	—

## ■NTスラリー瓦塗替え工法 シリコン遮熱仕様

上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン遮熱 A液 —14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン遮熱 B液 —2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	6時間 (23℃)	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン遮熱 A液 —14kg</li> <li>●NTスラリー瓦用上塗シリコン遮熱 B液 —2kg</li> <li>●塗料用シンナー —————0～2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー</li> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	0.15kg/㎡ (生塗料換算)	6時間 (23℃)	—

スラリー瓦洗浄前の状態



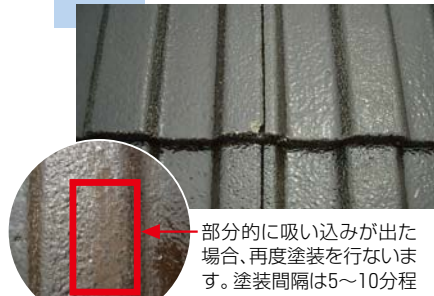
軍手で拭うと、脆弱なスラリー層および粉塵・藻類が取れてくる状態。

高圧水洗後の状態



高圧水洗後の瓦を軍手で拭うと若干スラリー層が付く程度。

NTスラリー瓦用シーラーを施工  
(表面がピカピカになるまで塗装した状態)



部分的に吸い込みが出た場合、再度塗装を行いません。塗装間隔は5～10分程度です。

拡大写真(接写)

### 【注意事項】

#### ■素地調整について

- コケなどを残しますとプライマーの付着不良を起こします。完全に取り除いてください。

#### ■塗料と塗装について

- シーラーの塗装は瓦表面にシーラーが浮くまでたっぷり塗装してください。
  - シーラー塗装時の基材は吸い込みがありますので、場合によっては1～3回塗装となる場合があります。
  - シーラーは攪拌後、20分程度反応させた後に施工してください。
  - シーラー乾燥後にガムテープを塗装面に張り付けし、その後、剥がしたとき粘着面に着色スラリー層が付着していないことを確認してください。
  - ガムテープに着色スラリー層が付着する場合は、シーラーを再度塗布してください。
- 注)シーラーの塗布が不足している場合は基材への浸透不足により、素地の強化がされず効果が出ません。
- 降雨、降雪が予想される場合や外気温が5℃以下、湿度80%以上の塗装は避けてください。

- 塗装器具は使用后、速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- 表面を水洗いした後、および雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- 塗装にあたっては好天であることを確認し、塗装後24時間以内に降雨などが予測される場合は塗装を控えてください。
- 降雨などがあつた場合は必ず1日、もしくは2日以上塗装間隔をあけるとともに瓦表面に水分がないことを確認してから塗装してください。
- ローラー施工の場合は上下の瓦がつかないように施工してください。つながった所は漏水の原因となります。必ず縁切りを行なってください。
- 塗装後の前小口部に塗料が溜まりますと、雨漏れにつながる場合があります。必ず、皮スキやカッターなどで縁切りを行なってください。
- 高圧水洗やエアレス塗装では、施工中のミスの飛散がトラブルの原因になりますので十分に養生を行なってください。
- 塗料の保管は密栓し、直斜日光の当たらない涼しい冷暗所に保管してください。

## 試験性能表 (NTスラリー瓦用上塗)

試験項目	試験方法		試験結果
乾燥性	指 触	23℃ 65%RH	20分
	半硬化	//	40分
光沢	60度 鏡面反射率 ガラス板上		80
鉛筆硬度	JIS K 5600 鉛筆硬度		H
初期付着性	ゴバン目 5mm×5mm テープ試験		25/25
耐水性	水道水 7日間浸漬		異常なし
	水道水 7日間浸漬後 ゴバン目 5mm×5mm テープ試験		25/25
耐温水性	60℃温水浸漬 7日間浸漬		異常なし
	60℃温水浸漬 7日間浸漬後 ゴバン目 5mm×5mm テープ試験		25/25
寒熱サイクルテスト	水中浸漬×16時間→-20℃×4時間→80℃×4時間 30サイクル		異常なし
凍結融解試験	自社試験法 水中浸漬にて試験 -20℃×4時間→20℃×4時間 100サイクル		異常なし
促進耐候性	サンシャインウエザオメーター 1000時間		光沢保持率90%以上

## 「NTスラリー瓦塗替え工法」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質安全データシート(MSDS)をご参照ください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

**【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】**


## 日本特殊塗料株式会社

### ■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 ●FAX(03)3913-6323  
 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 ●FAX(0463)23-3739  
 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 ●FAX(0566)81-8124  
 大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 ☎(06)6386-8492 ●FAX(06)6338-3560  
 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 ●FAX(082)423-8256  
 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 ●FAX(0942)89-5762

- 日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>
- ネット・アメニティシステム連合会ホームページ <http://www.e-toso.net/>

### ■代理店

NTS-1009J-#2 [2009年10月作成]



本カタログは環境保全のため、印刷インキには大豆インキを使用しています。このSOY INKマークは米国大豆協会承認マークです。